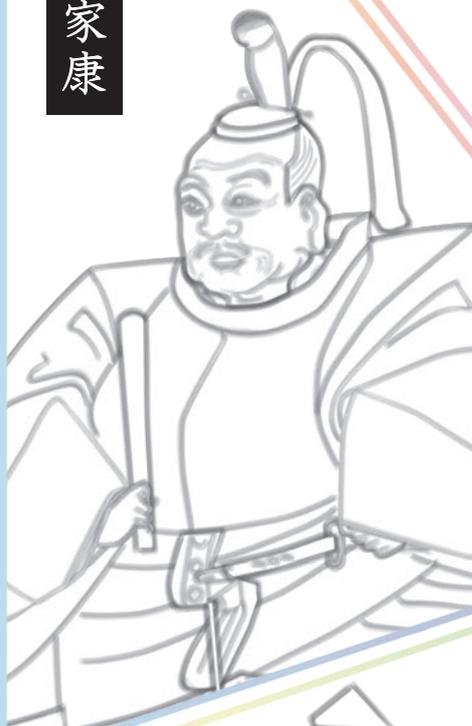


# 戦国・近江で活躍した武将たち



～戦国時代に思いを馳せて、あの“名将”たちを描いてみよう!!～

徳川家康



織田信長



豊臣秀吉



あきつ君



明智光秀



浅井長政



近江の国と呼ばれた滋賀県は、日本の重要な歴史の表舞台によく登場します。中でも戦国時代は、名だたる武将たちが近江を舞台に駆け巡り、戦いを繰り広げました。県内には、彼らが築いた城跡や歴史を物語る関係資料などが、数多くのこされています。その中でも特に注目される、近江で活躍した戦国武将たちのぬりえに、チャレンジしてみましょ！

ぬりえチャレンジ

描いた「ぬりえ」をメールか郵便で送付すると、琵琶湖文化館のウェブサイトで紹介されます。気軽にチャレンジしてみよう！

## 豊臣秀吉

信長の有力な家臣であった木下藤吉郎（後の豊臣秀吉）は、小谷城の戦いで功績をあげ、長浜の領地に城を築いた。



## 織田信長

戦国・安土桃山時代の武将で、全国統一を推し進めた英傑の一人。絢爛豪華な安土城を築き、城下は楽市・楽座で栄えた。



## 徳川家康

「姉川の戦い」では信長と共に、浅井・朝倉連合軍を打ち破る。後に戦国時代に終止符を打ち、江戸幕府を開いた。



## 浅井長政

北近江の戦国大名。信長の妹・お市と夫婦になるが、「小谷城の戦い」で信長に敗れる。



## 明智光秀

信長の重臣であり、大津・坂本城の城主。主君の信長に対する謀反「本能寺の変」には謎が多いとされる。



メールはコチラから！



**【とんぼ豆知識】** 滋賀県立琵琶湖文化館は、和城建築の公立博物館として昭和36年(1961)に建設されました。屋根の上には大きなトンボのモニュメントがあり、そのトンボをマスコットキャラクターにしたのが「あきつ君」です。前にしか進まず退くことをしないトンボは、勝利を呼び込む縁起のよい「勝ち虫」として、武将たちにも好まれたそうですよ。

